

中・長期目標 (学校ビジョン)	生徒一人ひとりに寄り添い、自分の夢を叶えるため、変化の大きな時代を生き抜くために自律学習を行い努力し続けられる学習者をチームで育て、自分に自信を持つ人であふれる鳥取をつくっていく。	今年度の重点目標	1 生徒一人ひとりに寄り添った面談・学習アドバイスを行い、自律的な学習者を育てる
			2 生徒の現状に適した充実した授業・サテライン・AI学習を行う。
			3 保護者と情報共有を行い、信頼関係を築く。
			4 教職員間での情報共有に努める。
			5 成績の向上、進学実績の向上を図り、より多くの生徒が集まる学校をつくる
			6 地域への情報発信を積極的に行う。

年 度 当 初					評価結果 5 月		
評価項目	現状認識	具体的目標	具体的な取り組み	評価基準	経過・達成状況	評価	改善方策
1 生徒と面談 学習アドバイス	○生徒と学習面における長期目標・ビジョンの共有が不十分である。 ○学習計画の実践が不十分である。	○定期的な面談を実施し、長期的な目標・ビジョンを共有する。 ○教科ごとの学習計画を考え、実施、評価を行う。 ○授業以外でも積極的に声掛けを実践する。	①担任アンケート結果に基づく査定を行う。 ②前期・後期の教科カウンセリングの実施 ③授業以外でも積極的に声掛けを実践する。	①担任アンケート結果に基づく評価項目「とても満足している」以上が全体の80％以上 ②前期・後期の教科カウンセリングの実施 ③授業以外でも積極的に声掛けを実践する。 A：①～③すべて達成 B：①～③のうち 2 つ達成 C：①～③のうち 1 つ達成			
2 授業 サテライン AI	○生徒の習熟度に合わせたクラス授業の設置が難しい。そのため、満足度が低い。サテラインや A I やをもっと有効に活用し生徒に適した学習役立てる必要がある。	○クラス授業では入試で問われる力を生徒に伝える。 ○サテラインや A I で生徒に適した学習を行っていくためのサポートをする。	①授業アンケート結果に基づき査定を行う。 ②サテラインの進捗状況を把握し、アドバイスを行う。 ③AIを活用し生徒に合わせた学習のサポートを行う。	①授業アンケート結果に基づく評価項目「とても満足している」以上が全体の60％以上 ②サテラインの進捗状況を把握し、アドバイスを行う。 ③AIを活用し生徒に合わせた学習のサポートを行う。 A：①～③すべて達成 B：①～③のうち 2 つ達成 C：①～③のうち 1 つ達成			
3 保護者との 情報共有	○保護者への日々の連絡が不十分である。	○三者懇談時に保護者アンケートを実施し、保護者の言葉・要望に傾聴し、それをを踏まえた面談の工夫や改善を行う ○欠席率が高い生徒・保護者への連絡を密にする	①アンケート結果にもとづく査定の実施 ②欠席率が高い生徒（連続 3 日欠席・同じ講座を連続 2 回欠席）・保護者への連絡を直ちに行う。	①保護者アンケートの評価項目「とても満足している」以上が全体の80％以上 ②欠席率の高い生徒への連絡を実施 A：①②すべて達成 B：①②のうち 1 つ達成			
4 教職員の 情報共有	○教職員の情報共有が不十分である。	○学習に関わる話し合いを実施し、新しい授業の実践を行う。	①学習に関わる話し合いを実施 ②AIやサテラインの指導方法の共有 ③生徒のニーズに合わせた授業の実施	①学習に関わる話し合いの実施 ②AIやサテラインの指導方法の共有 ③生徒のニーズに合わせた授業の実施 A：①②③すべて達成 B：①②③のうち 2 つ達成 C：①②③のいずれか 1 つ達成			
		○生徒の情報交換の場を設ける。	①生徒会議を実施する。 ②特別に情報共有すべき生徒については、こまめに全体への情報共有を実施する。 ③生徒に向けて次のアクションを起し、報告を密に行う。	①生徒会議を実施する。 ②特別に情報共有すべき生徒については、こまめに全体への情報共有を実施する。 ③生徒に向けて次のアクションを起し、報告を密に行う。 A::①～③すべて達成 B：①の達成かつ②・③いずれかの達成 C：①のみの達成			
		○運営に関わる会議を充実させ、情報共有と意見が出しやすい環境作りを実践する。	①職員会議を実施をする。 ②資料などの準備を2日前までに言い、会議前までに目を通してもらう。 ③意見を言いやすい環境を作る。	①職員会議を実施をする。 ②資料などの準備を2日前までに言い、会議前までに目を通してもらう。 ③意見を言いやすい環境を作る。 A::①～③すべて達成 B：①の達成かつ②・③いずれかの達成 C：①のみの達成			

5進路の実現と 生徒数獲得	○合格者は出ているが、 難関大学合格や高校・中 学へのトップレベルの合 格が少ない。	○高卒生のニーズに合わせた、 合格に向けた授業の実践・合格 のための科目ごとの学習計画の 作成・長期的な目標・ビジョン を共有し、教科ごとの学習計画 を考え、実施、評価をを行う。	○高卒生の国公立大学進学率60%以 上かつ難関大学・医歯薬合格率20% 以上	○高卒生の国公立大学進学率70%以上かつ難関大学・ 医歯薬進学率20%以上			
	○校外向けにあすなろの 魅力の発信が不十分であ る。	適切な時期に効果的な広報活動 を行う。	①短期講座の案内 ②魅力の伝わる生徒募集の実施 ③HPやSNSを活用し、発信	①短期講座の案内を3～4週間前を目安に情報を公開す る。②生徒募集ではあすなろの魅力がわかりやすく、 興味深いものにする。③HPやSNSを活用し、あすなろ の取組みを発信する。 A：①～③すべて達成 B：①～③のうち2つ達成 C：①～③のうち1つ達成			
	○生徒数が定員を満たし ていない。	○今後も生徒に寄り添った指導 を行い、自然に生徒から選ばれ る、口コミで良さが広がってい く学校をつくっていく。	生徒数を伸ばす	A：全生徒数が100名以上 B：全生徒数が60名以上 C：全生徒数が30名以上			
6地域への 情報発信	○鳥取県の学力の現状や 受験の仕組みの変更が、 一般には知られていな い。 ○R2年はオンライン質問 教室を実施したが、本年 度もこのような社会貢献 活動を実施していく必要 がある。	○地元予備校として、受験に関 する情報を地域に発信する機会 をできるだけ設ける。	○生徒・保護者対象の進学セミナー を実施・セミナーアンケートの実 施・要項の作成。	①アンケート結果の評価項目「とても満足している」 以上が全体の80%以上②要項の作成とスムーズな実施 A：①②すべて達成 B：①②のうち1つ達成			
		○社会貢献活動を実施。新聞な どに取り上げてもらう。	○あすなろ主催での社会貢献活動の 実施。 ○新聞などに取り上げてもらう。	①あすなろ主催での社会貢献活動の実施。②新聞など に取り上げてもらう。 A：①②すべて達成 B：①②のうち1つ達成			